

平成 29 年 5 月 2 日

関係各位

杏林大学医学部附属看護専門学校
学校長 岡島 康友
杏林大学 学 長 跡見 裕

杏林大学医学部附属看護専門学校の入学者募集停止について

平素は、杏林大学医学部附属看護専門学校(以下「本校」という)の教育・指導にご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。また、本校の学校運営に、ご支援・ご助言いただき、併せて感謝申し上げます。

このたび、本校は、平成 30 年度からの入学者募集を停止することといたしましたので、以下にご報告申し上げる次第です。

本校は杏林大学医学部医学科および附属病院の開設 2 年後の昭和 46 年に開校しました。特長として附属病院などでの実習に時間を多く取った実践的看護教育に重点を置いてまいりました。卒業生は平成 29 年 3 月の時点で 3600 名を超え、附属病院をはじめ多くの医療機関で活躍されていることを誇りに思っています。卒業生の努力に敬意を表するとともに、本校の社会への貢献を自負する次第であります。

しかし、時代は変わろうとしています。少子化社会の到来にもかかわらず、看護師養成校、とくに看護系大学が年々増加し、一部の看護専門学校ではすでに定員を満たすことができない状況となっております。このような状況を鑑み、杏林学園では看護教育を従来の保健学部看護学科に 1 本化し、平成 30 年度から本校の入学者募集を停止することにいたしました。

募集を停止いたしましても、在校生に対応する教育体制は変わることはありませんし、国家試験へ向けた指導や就職サポートには従来通り力を入れてまいります。また、卒業生に対する種々の事務サービスは学生が不在になって閉校した後でも変わることなく提供されます。

今回の入学者募集停止の決定は誠に残念で、寂しい思いで一杯ですが、本校の関係各位には時代の背景をご理解いただき、これからもご支援を賜りたくお願い申し上げます。

以上